

# Wind

Take  
Free

2  
2024

INAZAWA

は  
だ  
か  
祭





## 春の訪れを喜び、人々の幸せを願って。

奈良時代を起源に約1250年もの歴史があり、  
“天下の奇祭”として海外にまで広く知られる「はだか祭」。  
国府宮の一年は祭りを中心にめぐるといわれ、  
それぞれの思いを胸に、地域の一大行事を支える人々がいる。  
暖かな春は、もうすぐ目の前。町には活気が満ちている。



# はだか祭

はだかまつり

## 奈良時代から受け継がれる 尾張の伝統行事「はだか祭」。



大正2年(1913年)発行の「はだか祭」祭礼図。  
もみ合う裸男と見物人の様子が描かれている。



祭りの重要な舞台となる催追殿(なおいでん)。平  
成25年(2013年)に50年ぶりに建て替えられた。

## 神によって選ばれる催負人。 本番までの準備は古式ゆかしく。

「はだか祭」は春の訪れを  
喜び、豊作を祈る祭りである  
とともに、世の中の災いや厄  
を追い払うために行われる。  
その祭りの中心的役割を担う  
のが、たったひとりの催負人  
(神男)だ。催負人は、毎年、志  
願者から神籤で選ばれる。  
「地元出身で幼い頃から憧れ  
ていた」厄年を迎えた節目  
に「世界の災いがなくなるこ  
とを願って」など、志願する  
理由は人それぞれ。居住地や  
年齢に制限は  
ないが、過去  
に催負人を経  
験した人たちは

で組織された「鉄鉾会」の推  
薦が必要となる。  
催負人に選ばれた人は一  
旦家族との縁を切り、神事の  
3日前から境内の催追殿で  
寝泊まりをする。この間、前  
年・前々年の催負人から、催  
負人になるための心構えや  
作法を教わり、白飯・たくあ  
ん・白湯以外は口にせず身を  
清めるといふ。「身体だけでな  
く心まで清められるのでしょ  
う。神事に臨む催負人はとて  
も清々しい表情をしているん  
です。長年に渡り「はだか祭」  
に携わってきた山脇宮司な  
らではの言葉だ。



明治から平成の時代の催負人銘記。  
親子2代で選ばれた人も。



催追殿で行われる催負人選定式。神事の後に神籤を引き、選  
ばれた人には証である差定符(さしだめふ)が授けられる。



親兄弟や親戚に見送られ神社の参道を進む催負人。  
この日から神事の当日までは境内の催追殿で過ごす。

昭和58年(1983年)に「尾張大國霊神社(国府宮)」の禰宜(ねぎ)となり、平  
成23年(2011年)に宮司に就任。愛知県神社庁の副庁長も務める。令和5年  
(2023年)の「はだか祭」では、それまで2年に渡って中止されていたもみ合い  
を復活させ、今年は女性の参加を初めて認める決定を下す。「神社とは古くて  
新しいもの」という思いを胸に、より開かれた「はだか祭」の実現に尽力する。

尾張大國霊神社(国府宮)  
宮司

### 山脇 敏夫

Yamawaki Toshio



2月といえば、一年で最も  
寒さの厳しい時期。冷たい風  
が身に染みる冬空の下、稲沢  
市の「尾張大國霊神社(国府  
宮)」が沸き立つような熱気  
に包まれる一日がある。毎  
年、旧暦の正月13日に行われ  
る「はだか祭」は、稲沢市を含  
む尾張地方を代表する一大  
行事。正式には催追神事とい  
い、その起源は古く奈良時代  
にまでさかのぼる。

「始まりは約1250年  
前。称徳天皇の勅令によって  
全国の国分寺で悪霊退散の  
祈禱が行われた際、尾張総社  
であった当社でも厄祓いをし  
たことが由来と伝えられてい  
ます」と教えてくれたのは、神

社の宮司を務める山脇敏夫  
さんだ。近郊に目立った節分  
行事がなかったこともあり、  
尾張地方に春を呼ぶ祭りとし  
て定着。そこに、裸で寺社  
に詣でる寒参りの風習が結  
びついた。

当初は神事のみが執り行  
われていたが、「江戸時代末  
期には大勢の裸男が集まる  
ようになり、もみ合いを行う  
現在の形になったといわれて  
います」と、山脇宮司。42歳と  
25歳の厄年の男性を中心と  
した、さらしの下帯に白足袋  
姿の裸男たちが荒々しくぶ  
つかり合う様子は、当地方の  
冬の風物詩として広くなじ  
みの光景だろう。



下帯姿の子どもたちも「なおい笹」の奉納を行う。寒さに負けず、「ワッショイ」の掛け声で元気一杯。

「裸男のみ合いが注目されますが、それだけが『はだか祭』ではありません。一連の神事として捉えると、より意義を感じられると思いますよ」。鳥居と楼門の前に標柱が建ち、この日より神事に入ることが世間に知らされるの

### 守るべき伝統は大切にしながら 時代に即して変化する「はだか祭」。

が、旧暦正月2日。同じ日には、難負人選定式があり、矢的を射て悪霊退散を祈る締めくくりの射神事まで、16日間渡って関連行事が続く。「天下の奇祭」として広く知られるようになった「はだか祭」には、近年、尾張地方の

みならず全国各地、さらには海外から参加する人も増えてきた。そして今年、その長い歴史に新たな一歩を踏み出す。これまでは裸男のみで行うのが慣例だったが、着衣での参加が認められ、女性による「なおい笹」の奉納が実現するのだ。「守るべきものは守り、変えて良いところは柔軟に」と、山脇宮司。この決断によって、これまで以上に多くの人が祭りに関心を持つことだろう。幸せを願う老若男女の思いをのせて、伝統の祭り文化は現代に息づき、未来へと続いていく。



厄除けのお守り「なおいぎれ(5本500円)」は年間を通じて授与。「ステッカー守(小500円)」も。



奈良時代に尾張国の総社と定められ、国司自らが祭祀を執り行っていたことから、通称は「国府宮」。御祭神の尾張大國霊神は、尾張地方の総鎮守神として厚く信仰されている。

#### 尾張大國霊神社(国府宮)

稲沢市国府宮1-1-1 ☎0587-23-2121  
名古屋本線国府宮下車 徒歩約5分



#### 令和6年(2024年) 「はだか祭」

開催日時/2月22日(木)  
主な行事/  
21日(水)  
13:00 大鏡餅奉納  
22日(木)  
15:00 難追神事(はだか祭)  
23日(金・祝)  
3:00 夜難追神事  
8:00 大鏡餅餅切始(授与は10:00~)



「なおい笹」を担いで威勢よく楼門に駆け込む裸男たち。何本もの笹をまとめて紅白の布で覆っている。

### 厳かな神事と激しいもみ合い。 静と動が入り混じる祭りの一日。

祭り当日は、厄除けのお祓いを受ける人などが早朝からひっきりなしに神社を訪れる。色とりどりの布に願い事などを記して結びつけた「なおい笹」を奉納する裸男も続々と参拝。神事が終わり、境内に集まった群衆に手桶から水が撒かれると、いよいよ難負人の登場だ。山脇宮司は「実際は祭りに参加するだけでご利益はある」というが、裸男たちは難負人目掛けて突進。「触れることで運氣が良くなり厄が落とせると信じられているからでしょうね」。もみ合いの時間は年によって異なるが、1時間近く続くこと



境内の東南隅にある庁舎(ちょうや)で行われる夜難追神事。難負人は土餅を背負われ、境内を追われる。

も。難負人がようやく難追殿に引き上げられる頃、盛り上がりは最高潮に達する。一方、日付が変わった午前3時、暗闇の中で行われる夜難追神事は厳かな雰囲気だ。難負人は世の中の厄災が込められたとされる土餅を背負われ、神宝の「大鳴鈴」や桃と柳の小枝で作った礫で、境内の外へと追い立てられる。「難負人が家路に着く途中で捨てた土餅を神職が土に埋めることで、すべての災いや厄が祓われたということになる。祭りの中で最も神聖視されている神事です」。



人の波がまるで渦のよう。手桶の水が撒かれ、難負人に触れようともみ合う裸男たちの肌からも湯気が上がる。

YouTubeでインタビュームービー公開中!  
また、Instagram・Facebookで情報配信中!

YouTube  
名古屋鉄道



Instagram  
名鉄Wind



Facebook  
名鉄Wind





例年は12基の臼を使うところ、閏年(うるうどし)の今年は13基を使用。途中、働負人(神男)も登場して餅をつく。

年が改まり、儼追神事まで約1週間となった旧暦正月7日、大鏡餅の餅つきが行われる。白や杵、米を蒸すための蒸籠(むすろ)など、道具類はすべて新調されたもの。一部は機械でつくとはいえ、早朝から夕方まで休む間もないほどの忙しさだ。つきあがった餅は手でこねながらひとつひとつにまとめ、ある程度の大きさになったら、さらしの布を巻いて成形する。「餅は冷めてしまうと固くなるので、熱々のうちにまとめなくてははいけません。時間との戦いですよ」と、意気込む山田さん。多くの奉賛会会員が集まる会場は、熱気に満たされる。

### 高揚感に包まれる餅つき行事の一日。

「はだか祭」本番の前年にあたる、令和5年(2023年)5月に設立。七宝・美和・甚目寺の3地区から集まった会員による16の部会で構成され、儼追神事前日に行われる大鏡餅奉納に向け一致団結して準備を行う。

**国府宮はだか祭 大鏡餅奉納 あま市奉賛会**  
あま市七宝町沖之島安無97 (中部美化企業株式会社内)  
☎052-526-8577

儼追神事の前日に当たる旧暦正月12日、縁起物で飾られた大鏡餅がいよいよ神社に奉納される。奉賛会会員が手にした綱に引かれて参道を進み、楼門をくぐって境内へ。最後はクレーンで吊り上げて拝殿に設置される。無事に奉納が終わると、参拝者からも大きな拍手が沸き起こる。



揃いの半纏(はんてん)は奉賛会会員の印。餅つきやパレードに参加する際の正装だ。

### 地域住民の交流を生み出す伝統の祭り文化を後世へ。

う。それでも「比較的若い世代が会の中心を担ってくれています。地域がひとつにまとまり、市の発展につながると期待しています」と、山田さん。伝統は世代を超え、子どもたちにも受け継がれていくことだろう。

あま市内で塗装会社を営み、平成27年(2015年)、あま市商工会長に就任。「あま市まち・ひと・しごと創生総合戦略委員会」委員として、地域の活性化にも力を尽くす。奉賛会では、あま市を挙げて行う初めての「大鏡餅奉納」に成功に導くべく、会員の陣頭指揮をとる。「尾張大國霊神社(国府宮)」へは、折に触れて参拝。

**国府宮はだか祭大鏡餅奉納 あま市奉賛会 会長**

**山田 精二**  
Yamada Seiji



旧美濃街道沿いで営む老舗和菓子店。儼追神事にちなんだお菓子「まつり餅(180円)」は、ふわっとした羽二重餅で北海道産大納言小豆の粒あんを包んだもの。仕上げにまぶしたこうせん(はったい粉)が香ばしい。



「はだか祭」の季節に食べたい銘菓「まつり餅」。

菓子亀

稲沢市稲葉3-4-25 ☎0587-21-0363  
8:30~18:00 水曜日(2/21は営業)、火曜不定休  
名古屋本線国府宮駅下車 徒歩約15分



「はだか祭」に華を添える大鏡餅。地域一体となって奉賛活動を行う、住民たちの思いとは。

Innovation

人々の願いと感謝の心を大きな鏡餅に込めて。



餅米は市内の御神田で栽培される。「御田植祭」では地元高校生が早乙女役だ。



収穫の祭り「抜穂祭」。神職によるお祓いの後、鎌を使って手作業で刈り取る。

裸男のもみ合いと同様に、「尾張大國霊神社(国府宮)」の「はだか祭」を象徴するものがある。「50俵もの米から作る大鏡餅です。重量は約4tもあり、尾張近郊の市町村や稲沢市内の地区が奉納します」と教えてくれたのは、今年の祭りに大鏡餅を奉納する、あま市奉賛会の会長・山田精二さんだ。あま市が発足して今年で14年。新庁舎の完成を記念し、今回の大鏡餅奉納が決まったという。

儼追神事の特別なお供物として、神社拝殿の中央に飾られる大鏡餅。明治時代の初めに鏡餅を供え始めた頃は米5、6俵分だったという。ところが、「ほかの町より大きな餅を奉納しようと競い合ったのでしょ」と山田さんもいうように、昭和の時代に入り次第に巨大化。高さ2m35cm、直径2m40cmという現在の大鏡餅は、楼門をくぐり、拝殿に収まるぎりぎりのサイズだ。そんな大鏡餅の奉納は、餅米を育てるところから始まる。「早乙女姿の女性たちによる『御田植祭』は前年6月、黄金色に実った稲を刈り取る『抜穂祭』は10月に、いずれも伝統にならって執り行いました」。

米50俵で作る大きな鏡餅は、「はだか祭」を象徴するお供物。



「尾張大國霊神社(国府宮)」の境内に開かれた茶室。伝統的な数寄屋造りで、床柱には神苑の藪椿の木を使用している。毎月のお茶会や、3月3日に儼追殿で行われる「なおい茶会」には一般でも参加可能(有料)。

稲沢市国府宮1-1-1 ☎0587-23-2121  
名古屋本線国府宮駅下車 徒歩約5分



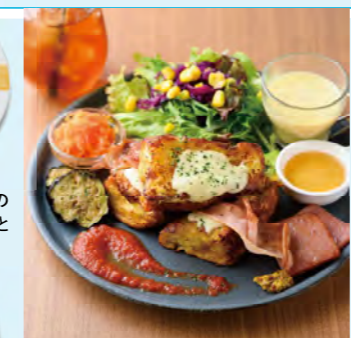
庭園を眺める風雅な茶室が「国府宮」の境内に。

三笑亭

祭りムードに盛り上がる  
町の見どころをめぐって。

01 種類豊富なパスタと旬のドルチェに満足。

パスタを中心としたイタリア料理を気軽に味わえるカフェレストラン。ランチは月替わりのパスタと、自家製フオカッチャのフレンチトーストがお待ちかねです。デザートやティータイムには、盛り付けも美しい季節感のあるドルチェが毎日7〜8種類もスタンバイ。パスタの種類がさらに増えるディナータイムまで、さまざまな場面で訪れてみてください。



ベーコンや野菜のデリなどが付く「フレンチトーストランチ(ドリンク付き1,400円)」。



テーブル席をメインにカウンター席も設置。景色の良い中2階席が人気です。

**Cafe Riecco**  
稲沢市大塚北6-57 ☎0587-81-8887  
11:00~21:00(ラストオーダー) ※ランチは~14:00、第2・4火曜は~16:00(ラストオーダー) 水曜休



04 季節の味を手軽に。鮮魚や高級食材も登場。

店内の生簀(いけす)に活魚が泳ぐ日本料理店。夜のお品書きには、鮮度抜群の活イカや活鯛の刺身のほか、すっぽん、フグ、鴨といった通好みの食材も登場します。一方、昼は手軽な御膳や松花堂弁当がメイン。刺身や揚げ物、煮物、茶碗蒸しなどが付いた「お昼御膳」は、季節感のある料理の数々をリーズナブルにいただけます。継ぎ足しのタレが自慢のうなぎ料理も、昼夜問わず人気です。



座敷席が中心。2階には広間があり、大人数の集まりにも対応。

**美寿吉(みずきち)**  
稲沢市大塚北7-45-1 ☎0587-21-0678 11:30~14:00、17:00~21:30 月曜休



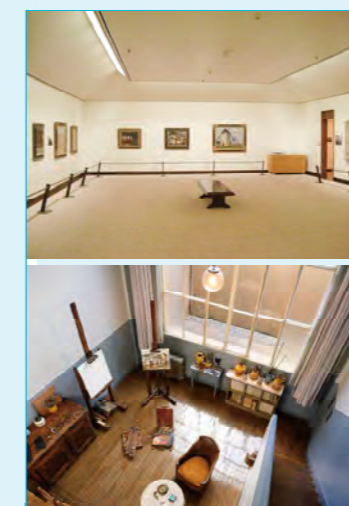
3段重ねのお重で供される「お昼御膳(1,210円)」。休日は20食限定なのでお早めに。



奉讃会の集まりで伺いました!

02 郷土の画家に思いを馳せて。

今の東京藝術大学を卒業後フランスに渡り、パリを拠点に活躍した稲沢市出身の画家・荻須高徳(おぎすたかひさ)の功績を讃える美術館。パリの歴史ある町並みや、市民の生活の場を描いた油彩を中心とする常設展示室では、画業全体を見渡すことができます。荻須がパリで使用していたアトリエの内部空間も復元され、愛用の絵筆などを展示。画家の息遣いが感じられるような空間は必見です。



**稲沢市荻須記念美術館**  
稲沢市稲沢町前田365-8 ☎0587-23-3300  
9:30~17:00(入館は~16:30)  
月曜休館(祝日の場合は翌日休館)、2/14・22・27休館  
入館料:一般310円、高・大学生210円、小・中学生50円



05 稲沢の特産品認定、もっちりわらび餅。

和の空間でゆったりくつろげるカフェ。名物のわらび餅は、本わらび粉やレンコンの粉末を加えた独自の原料で作る、もっちりやわらかな食感が特徴です。定番のきな粉や抹茶のほかに、生チョコなど季節限定の味も楽しめます。甘味だけでなく、サンドイッチから定食まで食事メニューも充実。帰りには隣接の持ち帰り専門店MIYABIに立ち寄ってお土産をどうぞ。



「贅沢三色わらび餅(きな粉・抹茶・黒ごま)」のドリンクセットは820円。



「さっぱり鶏天定食(1,180円)」。脂身を取り除いたのも肉でヘルシー。

**町家かふえ**  
稲沢市稲島東1-44 ☎0587-23-8340  
8:00~18:30(ラストオーダー) ※MIYABIは10:00~17:00 水曜休



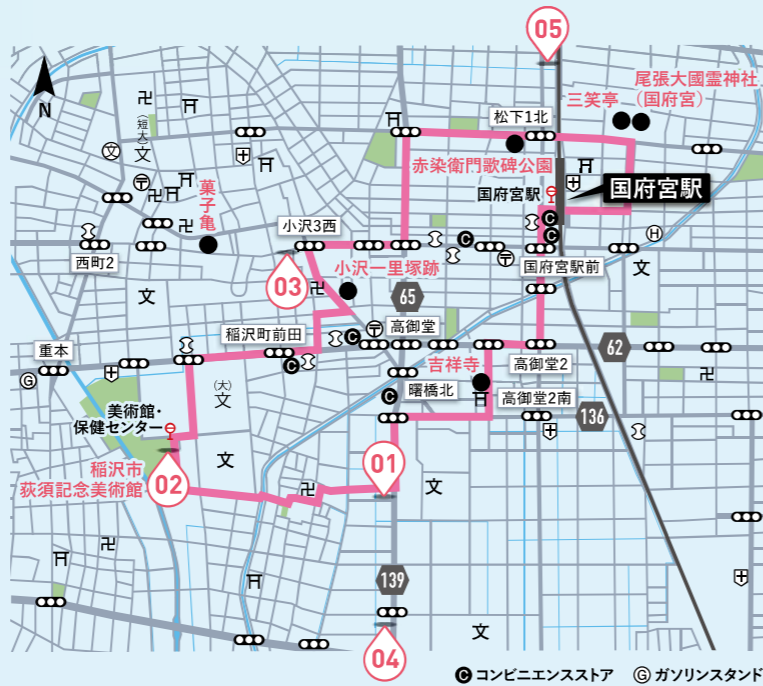
イベント情報

- 2月21日(水)  
**大鏡餅奉納**  
■場所/尾張大國霊神社(国府宮)
- 2月22日(木)  
**備追神事(はだか祭)**  
■場所/尾張大國霊神社(国府宮)
- 2月23日(金・祝)  
**大鏡餅切始(おおかがみもちもちりはじめ)**  
■場所/尾張大國霊神社(国府宮)
- 3月2日(土)・3日(日)  
**第18回いなざわ梅まつり**  
■場所/愛知県植木センター

- 今月の散策コース
- 国府宮駅
- 尾張大國霊神社(国府宮) 徒歩約5分
- 赤染衛門歌碑公園 徒歩約5分
- 小沢一里塚跡 徒歩約18分
- 稲沢市荻須記念美術館 徒歩約16分
- 吉祥寺 徒歩約20分
- 国府宮駅 徒歩約11分

名鉄名古屋駅〜国府宮駅へのアクセス

●特急に乗車 約10分  
●片道運賃: 360円  
人口: 133,592人(2024年1月現在)  
濃尾平野のほぼ中央に位置。古くは尾張国の役所である国衙(こくが)が置かれ、政治・文化の中心地として栄えました。肥沃な土壌と温和な気候から、植木や苗木の産地として知られています。

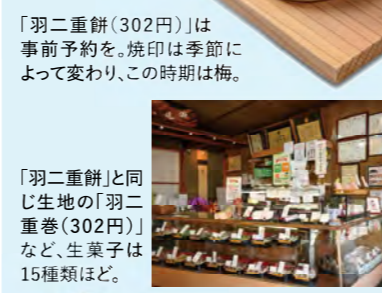


03 銘菓「羽二重餅」と稲沢ゆかりのお菓子を。

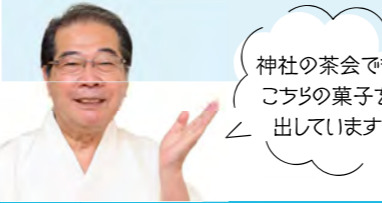
全国にその名が知られる代表銘菓の「羽二重餅」は、予約必須の人気商品。滋賀県産の上質な餅米を使った、ふんわりとろけるような食感の餅生地と、丹波春日大納言小豆の粒あんとを絶妙なバランスで合わせています。創業以来「尾張大國霊神社(国府宮)」との縁も深く、最中やせんべいなど「はだか祭」にちなんだ商品もラインアップ。



「大鳴鈴」を模した「なおい最中(216円)」、「はだかせんべい(5枚入918円)」。



「羽二重餅」は事前予約を。焼印は季節によって変わり、この時期は梅。  
「羽二重餅」と同じ生地の「羽二重巻(302円)」など、生菓子は15種類ほど。



神社の茶会でもこちらの菓子を  
出しています

**松屋長春**  
稲沢市小沢3-13-21 ☎0587-32-0253  
8:00~18:00 月曜休(祝日の場合は翌日休)、火曜不定休



## 春の訪れを歩いて実感！ 参加費無料のハイキングで健康増進

ご自身のペースに合わせて参加できる「名鉄のハイキング電車沿線コース」。2月10日・11日に開催する「東三河に春を告げる国指定重要無形民俗文化財『豊橋鬼祭』コース」は、伊奈駅をスタートし、豊川市から豊橋市までの約8.5kmを歩きます。安久美神戸神社で行われる「豊橋鬼祭」は、1000年以上の歴史を持つ伝統行事で、11日の14時から神事のなかでも、特に有名な一幕「赤鬼と天狗のからかい」が行われます。また、24日・25日の「早春の香りに誘われ梅まつりコース」では、朝倉駅をスタートし、知多四国霊場札所の「佐布里五箇寺」に立ち寄りながら、佐布里緑と花のふれあい公園へ。園内では「佐布里梅」を始め25種約6,000本の梅が咲き誇る、佐布里池梅まつりもお楽しみいただけます。スマホの画面に、コース地図や割引、プレゼントなどのクーポンが表示される「名鉄CentX」のアプリ、または、スタート受付で配付する紙のコース地図を手に、春の訪れを感じてください。



豊橋鬼祭

## 秋神温泉 氷点下の森 ライトアップ見学バス

■期間／～2月25日(日)の土日祝

森の木々に水を吹き付けて作り上げられた、飛騨高山の冬の風物詩「秋神温泉 氷点下の森ライトアップ」。これまでは高山からの公共交通手段がありませんでしたが、自家用車のない方や雪道の運転が苦手な方でもこのイベントに参加できるよう、濃飛乗合自動車今年度初めて定期観光バス(予約制)の運行を始めました。高山濃飛バスセンターからの往復バス運賃と、ライトアップ見学協力金を含み、おとなお一人様3,000円。期間限定で、2月25日までの土曜・日曜・祝日のみ運行中です。氷点下の世界でしか見られない、秋神温泉の幻想的な景色をお楽しみください。

PRESENT ▶ P13



山の一軒宿「秋神温泉旅館」が、昭和46年より制作を始めた冬の人気スポット「氷点下の森」。

濃飛バス

## manacaの利用は「週のまんなか」がお得!

### 「週のまんなかマナカデー」

■期間／2月7日(水)～4月24日(水)の水曜日

■対象／ファミリーマートエスタシオ、ミュプラット金山、ミュプラット神宮前、ミュプラット一宮、ミュプラット大曽根

水曜日にmanacaを使うとお得になるキャンペーン「週のまんなかマナカデー」が、2月7日よりスタート。スマホアプリ「名鉄ミュージズTouch」で事前にエントリーし、期間中の水曜日に対象店舗でmanacaを使うと、通常の5倍のポイント(税込200円につき、5ポイント)をプレゼントします。また、条件達成者の中から抽選で50名様に、ご利用金額分をポイントでキャッシュバックする嬉しい特典も。ぜひ、週のまんなか「水曜日」は、manacaを使ってお得な一日をお過ごしください。

※名鉄ミュージズ会員登録したmanacaが対象で、スマホアプリ「名鉄ミュージズTouch」からの事前エントリーが必要です。  
※本キャンペーンは、予告なく変更または終了する場合がございます。



キャンペーン詳細はこちら!



## おでかけNEWS

### でんしゃ旅 日間賀島ふぐづくし

■設定期間／～3月31日(日)

旬を迎えた美味しいふぐが、名古屋から約1時間の日間賀島で楽しむことができます。「日間賀島ふぐづくし」は、名鉄電車全線と名鉄海上観光船(河和港⇄日間賀島港・篠島港)が乗り放題で、ふぐづくし料理がセットになったお得なプラン。お値打ちな日帰り昼食プランは、ふぐの刺身(てっさ)やふぐちり鍋などはもちろん、ご利用施設での入浴(タオル代は別途必要)も楽しめ、おとなお一人様12,900円～。日間賀島を散策し、冬の味覚の定番・ふぐを存分に堪能しましょう。



詳しくはこちら!



※日帰り昼食スタンダードプラン(4人前)の料理イメージ

より贅沢に  
お楽しみいただける  
追加料理  
(要追加代金)  
※ご予約時に料理の追加を承ります。



ふぐの魚鱈焼き

※2人前のイメージ



焼き白子

1人前2,200円



あわび踊り焼

1人前3,300円

※当広告からのお申込みは承っておりません。詳しくはでんしゃ旅パンフレットをご覧ください。

## まちなかで気軽に楽しめる 瀬戸線アート

■期間／～2月29日(木)



アートでまちを彩り、訪れた人に新たな価値を提供する取組みとして「瀬戸線沿線アートギャラリー化プロジェクト」を実施しています。本プロジェクトの一環として、2023年12月から柴町駅、大曾根駅、小幡駅の改札付近に、高精細デジタル額縁「2.5GALLERY」を設置して32作品を展示。2月1日からは、「瀬戸線アートコンテスト」において総数3万票を超える投票で選ばれた受賞8作品が、アートステッカーとして瀬戸線車両内の窓を彩ります。さらに、SAKUMACHI商店街とその両端を担う清水駅と尼ヶ坂駅の構内には、およそ160のアート作品も展示。また、本プロジェクト限定の記念乗車券やコラボグッズも発売します。詳しくはQRコードからご確認ください。



詳しくはこちら!

# 名鉄沿線MAP



## 2月の名鉄沿線イベントカレンダー

~3/3	① 第23回 陶のまち 瀬戸のお雛めぐり	■場所/瀬戸蔵ほか ■瀬戸線尾張瀬戸駅下車 徒歩約5分
~3/10	② 収藏品展「桃の節句 ひなまつり展」	■場所/知多市歴史民俗博物館(ふゆうとりいちた) ■常滑線朝倉駅下車 徒歩約10分
2/3	③ 基目寺観音 節分会	■場所/鳳凰山 基目寺 ■津島線基目寺駅下車 徒歩約5分
2/3	④ 笠寺観音 節分会	■場所/笠寺観音(笠覆寺) ■名古屋本線本笠寺駅下車 徒歩約3分
2/11	⑤ 鳥羽の火祭り	■場所/鳥羽神社 ■蒲郡線三河鳥羽駅下車 徒歩約10分
2/17・18	⑥ 犬山市各務原市ご当地じまんまつり	■場所/河川環境楽園オアシスパーク ■各務原線各務原市役所前駅または新那加駅からふれあいバス「河川環境楽園」下車

※上記は1月24日現在のものです。最新の情報は公式サイト等でご確認の上、おかけください。

## 名鉄東部交通バスでmanacaの利用が可能に!

■利用開始日/2月3日(土)~



詳しくはこちら!

西尾市と岡崎市を結ぶ名鉄東部交通バス全線で、2月3日からICカードシステムmanacaを導入。あらかじめチャージ(入金)しておけば、バス車載機にタッチするだけで精算が完了します。スピーディーで、乗り換えもラクラク。全国の交通系ICカードの利用も可能となります。また、バスの利用実績に応じて「manacaマイレージポイント」がたまり、たまったポイントはポイント還元してバスや電車の乗車にご利用いただけます。一色産うなぎや西尾の抹茶を堪能しながら、佐久島や西尾城、岡崎城へとキャッシュレスで便利なバスの旅をお楽しみください。

※定期乗車券によるご利用は2025年度以降を予定しております。



## 名鉄東部交通バス全線で利用可能に!



## 名鉄ミュージックカード7000系パノラマカーデザインカード登場!(限定3,000枚)

■お申込み期間/~2月29日(木)16:00

※枚数に限りがあるため早期終了する場合があります。



詳しくはこちら!



年会費実質無料<sup>※1</sup>の「名鉄ミュージックカード」限定デザインが、昨年に続く第2弾として登場。今回は、2009年に完全引退をしながらも多くの方に愛され続けている、日本初の全面展望付き電車7000系「パノラマカー」をデザインしたカード<sup>※2</sup>です。また、新規入会・利用で最大5,000ポイントの名鉄ミュージックポイントに加え、7000系「パノラマカー」のオリジナルステッカーをもれなくプレゼント。さらに、抽選で合計100名様に、オリジナルパスケースまたはペンケースが当たります。

※1 初年度年会費無料、年1回以上の利用で翌年度も無料。

※2 カードの更新時や再製・再発行いただいた場合には、通常デザインでの発行となりますので、ご了承ください。

meitetsu  
名鉄百貨店

## 名鉄百貨店 2月の催事情報




本店  
[本館]  
7階催場


~2月5日(月)	日本の職人展 併催 めいてつ美術品入札会'24
1日(木)~5日(月)	あいはら友子 赤富士絵画展
7日(水)~13日(火)	第11回 全国逸品うまいものまつり
8日(木)~13日(火)	第51回 人権を理解する作品コンクール入賞作品展
15日(木)~20日(火)	めいてつアートフェスタ'24
21日(水)~26日(月)	めいてつ絵画工芸品大感謝'24
28日(水)~3月5日(火)	第6回 福井県の観光と物産展 日本画洋画展示会

※都合により、変更・中止となる場合がございます。

# Wind Information




## |今|月|の|プ|レ|ゼ|ン|ト|

<p>1</p> <p>P7 掲載</p>  <p>稲沢市荻須記念美術館より オリジナルグッズ(ノート・しおり)を 5名様に</p>	<p>2</p> <p>P7 掲載</p>  <p>松屋長春より 「なおい最中(5個入)」を5名様に</p>	<p>3</p> <p>P10 掲載</p>  <p>濃飛バスより 奥飛驒まるごとバリューきっぷ (高山発2日間)引換券をペア1組に ※有効期限は2024年5月6日までです。 ※新穂高ロープウェイ運休時はご利用いただけません。</p>
---	---	--

<p><b>応募方法</b></p>	<p>名鉄ホームページ、または右記QRコードよりご応募ください。 プレゼントの発送をもって発表にかえさせていただきます。 ▶ 締 切: 2月20日(火)</p>	<p>プレゼントへのご応募はこちら</p> 
--------------------	--	---

## |S|N|S|で|発|信|中|!

Precious Stories取材時の様子や、リアルタイムなおでかけ情報など、誌面ではご紹介できなかったおすすめ情報を、InstagramとFacebookにて毎週配信。また、YouTubeでははだか祭に携わる山脇さんのインタビュームービーを公開しています。ぜひフォロー、登録の上、お楽しみください!

 Instagram 名鉄Wind	 Facebook 名鉄Wind	 YouTube 名古屋鉄道
--	---	---

3月号のPrecious Storiesは 「弥富の金魚／弥富駅」です。3月1日の発刊をお楽しみに!

## |今|月|の|名|鉄|グ|ル|ー|プ|提|供|番|組|

※番組内容が変更となる場合がございます。

 <p>【東海テレビ】 金曜22:52より放送</p> <p>2日・9日・16日・23日 赤池編</p>	 <p>【中京テレビ】 土曜11:40より放送</p> <p>3日・10日・17日・24日 江南市編</p>	 <p>【CBCテレビ】 日曜12:54より放送</p> <p>4日・11日・18日・25日 ※2/4は14:24より放送予定</p>	 <p>【テレビ愛知】 月曜～金曜 17:26～17:30 日曜 22:48～22:54</p> <p>1週目 名古屋市昭和区 2週目 大口町 3週目 名古屋市千種区 4週目 犬山市</p>	 <p>【ぎふチャン】 水曜21:56より放送</p> <p>7日・21日 コウゾの寒ざらし 14日・28日 細寒天</p>
--	--	---	--	--

〈プライバシーポリシーについて〉お客さまの個人情報は、プレゼントの発送及び、個人を特定できない統計データ作成にのみ利用いたします。また、ご応募いただいた個人情報を第三者へ提供することはありません。※掲載内容は変更または中止になる場合があります。詳しくは各店舗・施設へお問合せください。最新の情報は公式サイト等でご確認の上、おでかけください(すべて2024年1月24日現在のものです)。掲載価格はすべて税込価格です。QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。

**メイジノオト** ミニ  
Meiji-Note

「メイジノオト・ミニ」は、皆さまのココロや暮らしをちょっとだけ豊かにする、「明治村」に関わる情報をお届けするコーナーです。

### 第23回 視覚的にも楽しめる暖炉

暦の上では冬が終わりを告げ、春の訪れを教えてくれる「立春」を過ぎる頃ですが、まだまだ寒い日が続き、暖房器具を手放せない方も多いのではないでしょうか。三重県庁舎や西郷従道邸など、明治村には暖炉が備え付けられた建物がいくつかあります。暖を取ることはもちろん、日本建築における座敷の床の間のような室内装飾の中心的存在として、視覚的にも楽しむことができる暖炉。建物ごとに備えられた、こだわりの暖炉をぜひご覧ください。



明治をみつめる。  
①をみつける。

メイジノオト  
Meiji-Note

